



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

- 創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
- 事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
- 例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
- 会長：井上正行 ■副会長：北神徳明 幹事：増井義久



卓話 畿央大学講師 訓覇 秋麿 様

会長報告

●ガバナーノミニー公示期間が本日までとなっております。おそらく立候補者が少ないものと思います。地区からは明日、当クラブに正式に連絡が入ることになります。また明後日には地区内96クラブに対して配信があると思います。

続きまして理事会報告をさせていただきます。

- ◆来週の火曜日ですが、東京恵比寿ロータリークラブの伊藤会長以下9名が来られます。当クラブの東日本大震災石巻復興支援プロジェクトの事業に対して伊藤会長に協力を要請したところ、10万円を頂ける事になり、来週持って来て頂くことになっています。お水取りなども見学されると伺っております。
- ◆4月15日に開催する春の家族親睦例会について、承認させて頂きました。
- ◆4月1日の地区大会ですが、現在43名が出席予定と聞いておりますが、ガバナーノミニーも出すこともあり、出来るだけ多くの方に出席頂くようお願いします。
- ◆鷗尾の会ゴルフ大会については、担当委員会から詳しく説明して頂きます。
- ◆新入会員について、5月から入会して頂けることになり、手続きを進めさせて頂きたいと思っておりますので、宜しくお願いします。
- ◆ポリオ+2億ドルチャレンジは本年6月で終わりますが、当クラブは現在2年間で\$895と非常に少なくなっております。佐川財団委員長と話をさせて頂き、理事会に挙げさせて頂きまして、6月までに一人当たり最低¥1,000程のご寄付をお願いしたいと思っておりますので、宜しくお願いします。
- ◆盛岡西南ロータリークラブよりソーラーの街頭設置支援ということで、一口35万円の寄付(要請)が来ております。当クラブは相当いろんなところへ寄付をしておりますこともあり、お断りさせていただくこととしました。
- ◆青葉仁会障がい者福祉団体からも寄付のお願いが来ております。これもお断りさせて頂くこととしました。
- ◆石巻奉仕プロジェクトの会計報告を承認させて頂きました。
- 災害義捐金の領収証(昨年10月に一人当たり¥3,000以上のご寄付を頂いた件)を状差しに入れております。確定申告に使用できます。

発行日/2012年 3月13日

2011-2012/33

Vol.33

No. 1592

HP: <http://naraomiya-rc.jp>
E-mail: info@naraomiya-rc.jp

2011~12年度 当クラブテーマ
「クラブの未来のために
リーダーを育成しよう」

K.I.D.2650 2011-2012



長き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

国際ロータリー第2650地区
ガバナー 今西 信裕



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第34回 3月13日
通算1592回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
- 「四つのテスト」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話
株柿の葉すし本舗 たなか
代表取締役社長 田中 郁子様
「柿の葉すし、あれ、これ」
6. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第33回 3月6日
通算1591回

● 会員数	70名
● 出席免除者数	23名
● 出席者数	53名
● 出席率	82.81%

第31回 2月21日
通算1589回の修正

● 会員数	70名
● 出席免除者数	23名
● 出席者数	63名
(内補填者数	3+1名)
● 出席率	94.03%

委員会報告

親睦活動委員会・野崎委員長

4月15日(日)の花見家族親睦例会ですが、新歌舞伎座での観劇とシェラトン都ホテル大阪での食事会を催したいと思います。今回はコロッケさんの観劇と食事となっております。今回は新歌舞伎座に対して松岡嘉平治さんからの強いお力添えもあり、良い席を確保して頂いております。二階の正面ということで、なかなかこの日は満席でとれないということなので、是非御家族お誘いあわせの上、奮ってご参加の程お願い致します。詳しくはまたご家庭の方に案内を発送させていただきます。

橋本副幹事

本日例会終了後、桐の間に於いて次年度理事会を行いたいと思います。次年度理事役員の皆様よろしくお願い致します。

幹事報告

石巻プロジェクトとして、最後に修二会のお松明を使い慰霊祭を行うという事業があります。その日程が決まりましたのでご報告させていただきます。被災のあった3月11日の夜に使われる修二会のお松明の全てに分散されて使われる予定となっております。作られるのは11日早朝6時頃からということですので、そちらの方は取材に行ってください。そのことを石巻小学校に伝えましたら、メールが返って来まして「大変感謝している」とのこと、遺族会でも楽しみにしているという連絡がありました。

卓話 「こどもたちの笑顔のために」～オレンジリボンキャンペーンを通して～ 畿央大学講師 奈良県児童虐待防止啓発強化事業推進委員 訓覇 秋磨 様

奈良県で児童虐待防止啓発強化事業を行っているのですが、本日は貴重なお時間をいただき有難うございます。私は、奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」という団体の一会員ですが、県からこの事業の委託を受け、事業の推進という立場で本日は寄せていただいております。

はじめに児童虐待の現状ですが、皆さんご存知のように、新聞やテレビで毎日のように児童虐待に関するニュースが報道されております。一番愛されていいはずの親から虐待を受けて、心や体に大きな傷を負いながら生きている方がたくさんおられます。中には虐待の結果、命を落としてしまう子どもたちの数も決して少なくありません。児童虐待に関する相談の現状ですが、全国に児童相談所の窓口があり、奈良県では「こども家庭相談センター」といい、奈良市と大和高田市にあります。その窓口で受けた相談の統計資料から、最近の児童虐待の現状を見ていきたいと思っております。児童相談所（奈良県・全国）における虐待相談対応件数の推移は、奈良県では平成11年は135件だったのが、平成22年度は728件と5.4倍になっています。全国では11,631件が55,152件と4.7倍になっており、いずれも5倍前後にここ10年間で増えています。このように虐待相談は増加の一途をたどっておりますが、おそらくこの数字というのは氷山の一角ではないかと思っております。次に、虐待の内容別相談件数ですが、虐待にもいろんな種類があります。「身体的虐待」は「しつけ」と称して子どもを金属バット等で殴り飛ばす、蹴る、首を絞める、2階から突き落とす、煙草の火を押し付けて火傷をさせるといったようなものです。だいたい4割前後がこの身体的虐待です。「保護の怠慢・拒否（ネグレクト）」は、例えば、乳幼児を家に置いたまま長時間外出する、親が買い物に行って赤ちゃんを車の中に置き去りにするような場合で、家に残された子どもが火事を起して亡くなる、車に置き去りにされた赤ちゃんが熱射病で亡くなるというようなものであったり、子どもが学校に行きたいのに罰として学校に行かせない、早くお医者さんに診せなければならない状況にあるのに医者に見せない、面倒くさいからといって子どもがお腹をすかせているのに食事を作らない、赤ちゃんにミルクをあげない、子どもに何か月も同じ服を着させて不衛生な状況にする、家の掃除を全くしない、などもこの種の虐待に入ります。約3割前後がこの「保護の怠慢・拒否（ネグレクト）」の虐待で、身体的虐待に次いで2番目に多くなっています。次に「性的虐待」ですが、一番多いのが、親が子どもに対して性行為を強要する、お父さんが自分の娘に性行為を強要する、親の性行為を見せる、性器を見せる、ポルノグラフィの被写体に子どもを強要するというような虐待です。私は児童相談所に40年近くおりましたが、娘が父親の子どもを妊娠したり、出産したりするという大変なケースもありました。最近も新聞で、母子家庭で中学3年生の娘が親に強要されて売春をし、稼いだお金は母親の覚せい剤を買うのに使われていたというニュースが出ていました。「性的虐待」はだいたい4割前後です。ただ私の経験上からはもっと多くあると思っております。欧米のデータを見るともっと数値は高いですし、欧米ほどではないにしてももう少し高いと思っております。しかしながら実際に親からの性的虐待を受けながら、誰にも相談できずに悩んでいる子どもが結構いるのではないかと思います。これからはそれをどの

ように見つけていくかが、教育も含めて大きな課題だと思います。「心理的虐待」は言葉による暴力とも言ってもいいです。例えば「お前は可愛くないのう」、「お前みたいなのは産まなきゃよかった。上のお兄ちゃんだけでよかった。」、「死んでしまえ」、「出ていけ」というようなことを毎日毎日言われていると、当然子どもの人格の成長というのは沈んだものになっていくわけです。最近新聞に出ていたのは教育という名の虐待です。親の期待過剰でして、小学校3年生までに小学校で習うことを全てしておかなければならないということで、塾また塾で特訓を受けさせます。それに耐えかねて子どもの心にいろんな支障を来している例が結構あります。この虐待の割合は20%台の前半で3番目に多い虐待です。統計資料では虐待の種類は4つに分かれています、一つの虐待だけということではなく、いくつかの虐待が重なり合って虐待が生じているというのが現状です。次に、おもな虐待者ですが、実の父母はあまり虐待をすることはないだろう、新しく来た父母がするのではないか、と思われがちですが、実父と実母を合わせると9割近くが実の親によって虐待がなされているというのが現状です。被虐待児童の年齢構成は、小学生が35%～37%で一番多くなっていますが、小学校に入る前の乳幼児（0～3歳未満）と3～学齢前児童の6年間を足すと40%～50%近い数値になっており、幼い子ほど虐待を受けやすい傾向にあります。次に、虐待の経路別相談件数ですが、これは児童相談所の窓口にどういうところから相談が持ち込まれているかということです。奈良県の統計では、一番多いのが市町村、2番目が近隣知人、3番目が家族です。以上が統計資料から見た児童虐待の現状です。

次に、「児童虐待を防止するために」ということですが、「オレンジリボン運動」と「奈良県のオレンジリボンキャンペーン（児童虐待防止活動）」についてお話させていただきます。「オレンジリボン運動」は、「こども虐待のない社会の実現」をめざす市民運動です。オレンジリボンはそのシンボルマークです。なぜオレンジ色なのかというと、オレンジフルーツのような明るさと暖かさ、こういったイメージを持つのがオレンジ色なのですが、これが何を意味しているのかといいますと、子ども達の明るい未来を表しています。つまり、オレンジリボンには、子ども虐待の現状を広く知らせて子どもの虐待を防止するとともに、不幸にも虐待を受けてしまった子どもが、幸せになれるように、笑顔になれるように、そういう気持ちがこのオレンジリボンに込められているわけです。このオレンジリボン運動のきっかけは、2004年9月に栃木県小山市で起こった児童虐待事件です。3歳と4歳の幼い二人の兄弟が、虐待の末に橋の上から川に投げ込まれて亡くなるという痛ましい事件が起きました。この事件をきっかけに「カンガルー小山」が、2005年に子どもへの虐待防止をめざしてオレンジリボンキャンペーンを始め、それが2006年以降、徐々に日本全国にオレンジリボン運動として広まってきています。

奈良県のオレンジリボンキャンペーンはどうかというと、奈良県では、2008年度から始まり、昨年度は、オレンジリボンのことはまだまだご存じでない方も多だろうということで、「オレンジリボンの知名度を上げよう」をテーマにいろんな活動を展開しています。全国都市緑化ならフェア会場では、オレンジリボンをモチーフにした花壇の展示を行い、県内の16市町村では、児童虐待防止の願いをつなぐ市町村リレーキャンペーンを開催し、また県下の11大学では大学祭を利用してキャンペーン活動を行いました。また、県下17の医療機関、20の企業、14団体などにも協賛・ご協力をいただきました。統計資料でも近隣知人からの通告がずいぶん増えておりましたので、こういった取り組みの成果かなとも思っていたのですが、昨年3月に桜井市で5歳の幼児が親から何日も食事を与えられずに餓死してしまうという事件がありました。新聞報道によると、近所のほとんどの人達は、お腹がすいて毎日毎日泣き叫ぶ声を知っておられましたが、市町村の窓口、こども家庭相談センター、警察の窓口等も含めて通報は一件もなかったということです。児童虐待の防止は児童相談所、こども家庭相談センター、市町村の窓口だけではなかなか難しいところがあります。やはり早期発見、早期防止のためには、地域の方々のご協力がどうしても必要になってきます。この事件を教訓に、今年度の奈良県のキャンペーンでは、「児童虐待防止啓発強化事業」を行っています。啓発推進員が、金融機関、医療機関、スーパーマーケット、大規模小売店などを訪問して、事業所内でのポスターの展示、リーフレットの配置、協賛証の設置、相談窓口・通報窓口の紹介、従業員のオレンジリボン着用の協力などをお願いしたり、経営者層が多数所属する団体等での講演などを通して啓発活動などを行います。今日ここにお邪魔して貴重なお時間をいただいておりますのも、この事業の一環としてお願いにあがっているわけでございます。

次に、未然防止と早期発見・早期対応についてですが、支援にあたって大事なことは、親を責めないことです。虐待というついでに親を叱りたくなりますが、叱るだけでは解決しません。虐待をする親も、小さい頃からの様子を見ておきますと、いろいろと事情があることが多いです。何らかの支援を必要としている方なのだという理解が大事だと思います。また、虐待をする人は特別の人だけがすると思いがちですが、そうではなく、どの人にも起こりうる問題で、決して特定の人だけの問題ではないということを理解いただきたいと思います。早期発見・早期対応というのは決して子どものためだけのものではありません。その親や家族の援助のためにも、できるだけ早く支援してあげたいと思います。そのために地域や職場で子育てに悩んでいる方がおられたら相談に乗ってあげていただきたいです。近所で泣いている、あざを作っているという子どもがいたら、相談窓口へ通報いただきたいと思います。誰が通報したかということは秘密にさせていただいております。なぜそのようなことを申し上げるかということ、児童福祉法に要保護児童発見者の通告義務というのがあります。また、児童虐待の防止等に関する法律には、児童虐待に係る通告という条文があります。要するに通告するということは国民一人一人に課せられた義務なのだということです。通告が遅れて亡くなられる子どももたくさんいますが、通告

によって救われる子どもはもっとたくさんいます。虐待ではないかと思われることがあれば、早めに通告いただければと思います。虐待の防止のために、虐待を受けている子どもが早く笑顔になれるように、皆様のご協力ご支援を是非ともお願いしたいと思います。

どうも有難うございました。

【卓話講師プロフィール】

訓覇 秋磨（くるべ あきまる）様

三重県出身 奈良教育大学卒

（現在）畿央大学非常勤講師

臨床心理士

日本心理臨床学会会員

奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」会員

その他

（経歴）

昭和41年4月 奈良中央児童相談所 心理判定員として赴任
以降、高田児童相談所判定係長、中央児童相談所相談課長を経て
平成4年4月 高田児童相談所所長
平成9年7月 奈良県中央児童相談所所長（奈良県婦人相談所所長兼務）
平成14年4月 奈良県中央こども家庭相談センター所長
（中央児童相談所と婦人相談所の組織統合により、名称変更）
平成15年3月 退職
平成15年4月 畿央大学 非常勤講師
平成16年4月 畿央大学健康科学部・教育部・健康科学部大学院で専任講師
平成22年3月 退職
平成22年4月 畿央大学 非常勤講師

例会変更

3月

■大和郡山ロータリークラブ ■

・3月19日（月）・・・定款第6条第1節(C)により休会。※ビジター受付は行いません。

■王寺ロータリークラブ ■

・3月20日（火）・・・定款第6条第1節(C)により休会。※ビジター受付は行いません。

■生駒ロータリークラブ ■

・3月21日（水）・・・家族例会の為、変更。日時：3月21日18：00～ 場所：奈良ホテル

※ビジター受付は行いませんが、現地でのメーキャップは受付させていただきます。

ビジターフィーは4,500円です。

■奈良西ロータリークラブ ■

・3月22日（木）・・・定款第6条第1節(C)により休会。※ビジター受付は行いません。

■奈良ロータリークラブ ■

・3月22日（木）・・・創立60周年記念例会（式典）により例会時間を変更致します。

・3月29日（木）・・・定款第6条第1節(C)により休会。

※両日共に、ビジター受付は12：00～12：30奈良ホテルにて行います。

4月

■奈良西ロータリークラブ ■

・4月12日（木）・・・早朝例会の為、変更。時間：午前7時～ 場所：霊山寺

※ビジター受付は、午後5時半～6時まで、奈良ロイヤルホテルフロント横にて行います。

奈良大宮RC山歩き同好会「NOMC」第168回

室生火山群国見山1016m - 住塚山1006m縦走

日時 平成24年3月4日

参加者 麴谷・向井・辻・森下・木村・小池

行程 新大宮発 7:00

|

済浄坊溪谷登山口 9:00

| 歩き

国見山 11:00

| 歩き

住塚山 11:58

| 歩き

屏風岩公園 12:30

|

自家用車にて曾爾村お亀温泉着



早春の室生火山群国見山、住塚山の縦走を行いました。今回参加者が少なく自家用車2台を利用して登山口済浄坊に車1台を置き下山口屏風岩公園に1台車置き済浄坊を9時出発する。

溪谷に入ると済浄坊の滝が現れ少しずつ高度をあげる、気温が下がり岩壁に5mの氷柱が現れる。

本日の天候曇りのち夕方より雨とのこと、11時国見山登頂クラブのNo2の記念標識を掛ける、天候あまり良くなく雨具を着てさきを急ぐ、あいにく住塚山より雨に成り急いで下山する。12時30分に屏風岩公園着、早朝済浄坊に置いた自家用車を取りに行き、2台の車にて曾爾村のお亀温泉に行き入浴後おでん屋にて遅い昼食と無事下山を祝して乾杯。

今回LD向井SLD辻氏自家用車の提供と運転して頂き感謝しております。

小池記



- 井上正行 君 ニコニコ協力
- 増井義久 君 畿央大学講師訓覇秋磨様 本日は卓話ありがとうございます。石巻プロジェクトで作りました”お松明”を3月11日の修二会で使用していただき慰霊させていただく事が決まりました。
- 小西敏文 君 訓覇先生、本日は卓話ありがとうございます。
- 土谷宗一 君 結婚記念日の御祝いありがとうございます。当日クラブから傘寿の祝に頂いたフルコースランチを頂きました。重ね々ねありがとうございます。
- 山本直明 君 結婚記念日のお祝いありがとうございます。
- 潮田悦男 君 2650地区WCSサモアミッションから無事帰ってきました。
- 高木伸夫 君 啓蟄も過ぎ、わが家の老白梅も春の訪れを告げてくれております
- 植村将史 君 春の足音が聞こえてきました。でも花粉はいやですねえ
- 楠原忠夫 君 3/3 (土) の2650地区財団補助金管理セミナー 橋本さん、森下さん出席ご苦労様でした。
- 小池恭弘 君 山歩き会第168回3月4日室生火山群 国見山1016m - 住塚山1006mを縦走してまいりました。あいにく天候が悪く早春の景色は余りよくありませんでしたが、済浄坊溪谷は水量が多く滝は見事でした。
- 金星 昇 君 松岡嘉平治様 御多忙のところ、JA奈良県、紹介ありがとうございます。頑張ります。
- 橋本和典 君 この日曜日、幸(み)空(そら)ちゃん(後2日で1才)の初節句におよばれしてきました。幸來(みく)ちゃん(4才)もキレイなおべべを着せてもらってすっかりお姉ちゃん 大きいおばあさん(私の母)も一緒に文字通りダブルの幸せでした。
- 佐川 肇 君 連続欠席のおわび
- 矢追家麻呂君 ニコニコ協力
- 山本尚永 君 ニコニコ協力
- 門脇伸幸 君 ニコニコ協力
- 谷川千代則君 ニコニコ協力
- 藤井正勝 君 今月の担当です。どうぞ目が合いましたらニコニコしていただき浄財にご協力下さい

本日のお客様

森田 宗圓 様 (奈良RC)

次週の例会

平成24年3月20日(火)は休会です。

平成24年3月27日(火)

卓話 サラヤ(株)代表取締役社長 更家 悠介 様 「私のアフリカ・ビジネス」